

1 はじめに

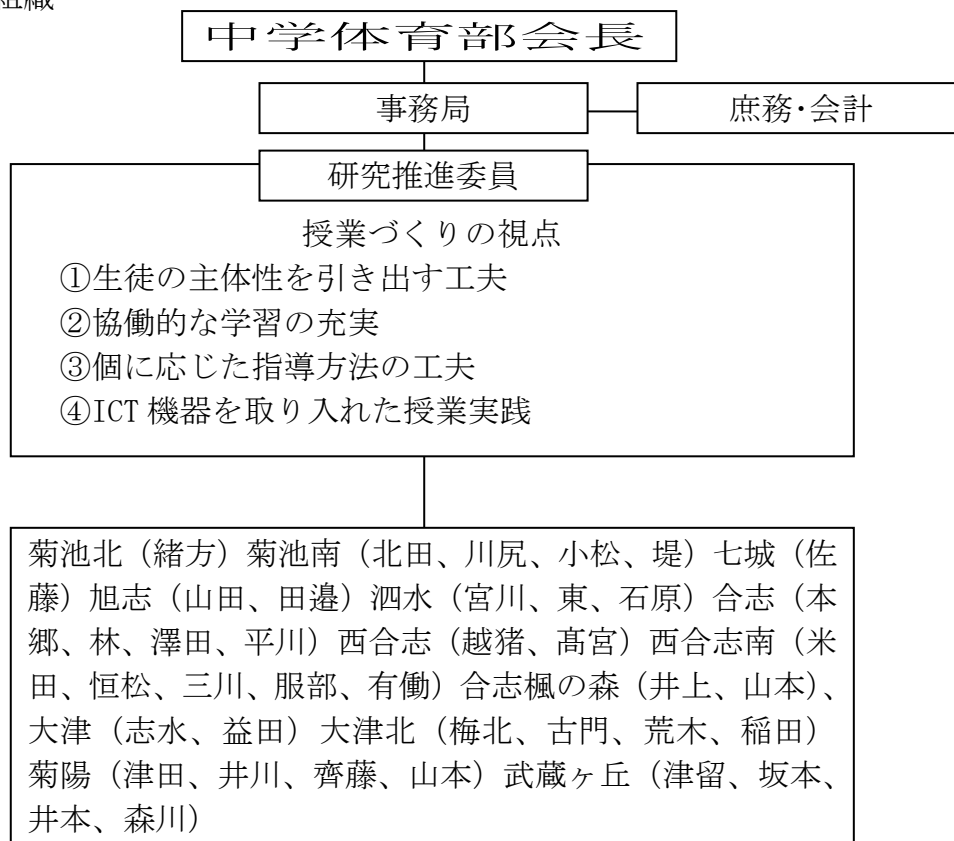
菊池郡市では、中尾会長（武蔵ヶ丘中学校）を中心に、13校38名の保健体育担当で研究を進めている。菊池郡市中体研の今年度の研究テーマを「楽しさと喜びを実感し、主体的に運動に取り組む生徒の育成～主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育科の創造～」と掲げ、生徒が主役となって活動し、学びとる授業づくりを目指している。

これまでも菊池郡市中体研では独自の取組として、言語活動を活発化させる「学習言葉」の精選や、各種目の基礎となる技能の向上を目的とした「スキルウォーミングアップ」をについて重点を置いて研究を行ってきた。その研究で培ったことを基盤として、現在は、個に応じた指導方法の工夫や協働的な学習活動の充実、ICT機器を取り入れた授業実践、そして「学習構想案」を用いた授業展開の研究にも取り組んでいる。今年度は、生徒が主体的に運動に取り組むための授業づくりに焦点を当てて研究していった。

2 研究テーマ

**楽しさと喜びを実感し、主体的に運動に取り組む生徒の育成
～主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育科の創造～**

3 研究組織



4 活動状況

(1) 第1回一斉研修会【5月6日(金)武蔵ヶ丘中学校】

○令和3年度事業報告及び決算報告

○令和4年度事業計画及び予算案審議、役員選出

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(2) 第2回一斉研修会【7月25日(月)菊陽中学校】

○実技研修「球技：ネット型のスポーツ」 大津中学校 講師 益田 依佳

○協議「昨年度の活動報告」 大津中学校 教諭 志水 貴彦

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(3) 第3回一斉研修会【1月26日(木)武蔵ヶ丘中学校】

○研究授業 球技 3年「バレーボール」

○授業研究会 指導助言 菊池教育事務所 指導主事 大谷 浩介

○研究協議

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

5 今年度の活動における成果

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、年度初めに会員を集めて共通理解を図る場を設けることができず、1年間を通して思うような活動はできなかった。また研修実施予定の時期に新型コロナウイルス感染症が流行し、今年度、一度も先生方を集めて、研修を行えなかったことも非常に残念に思う。

しかし、今年度の熊本県中学校保健体育研究発表大会(上益城大会)において、泗水中学校山田健太郎教諭の研究である「生徒一人一人の学ぶ意欲を引き出す体育の授業を目指して～効果的な場の設定とICTの活用～」を誌上発表できたことは、菊池郡市中体研の活動の大きな成果となった。菊池郡市中体研で進めている研究である「生徒の主体性を引き出す授業の工夫」や「ICT機器を取り入れた授業実践」の一端を他郡市に公開することで、多くの方から様々なアドバイスをいただき、意見交換をできたことは今後の活動の充実にもつながっていくと考えている。

さらに、県研究発表大会では、菊池郡市すべての学校から体育担当者1名以上の参加を促し、多くの先生方の参加を実現することができた。そのことで、上益城の先生方が時間をかけて作り上げられた「単元のゴールの姿」を意識した単元計画の作成や「単元のゴールの姿」につながる1時間1時間の授業づくり、生徒の主体性を高めるために、オリエンテーションの機会を単元の中に2回組み込むことのアイデアなどを実際に見て、体感し、各学校に持ち帰ることができた。研修の機会が限られている中で、県研究発表大会に参加し、学びを得られたことは一つの大きな成果となった。

6 次年度について

生徒が主体的に運動に取り組むための授業づくりについては、次年度以降も研究授業、授業研究会を実施しながら、菊池郡市の生徒の実態に対応した研究を深めていく。また、今年度実現できたように県研究発表大会や県夏期研修会への参加を通して、多くの先生方に授業改善につながる学びを得てもらいたい。計画した活動ができない1年となったが、その中でも、成果を生み出し、積み重ねられた。次年度は、再度、研究組織を整え、研究の方針を明確にしながらか菊池郡市中体研が一体となって活動していきたい。